

ダリアにおける冬春出し作型に適した新品種

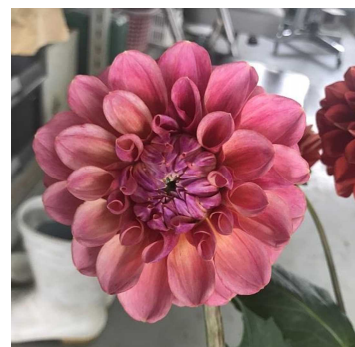
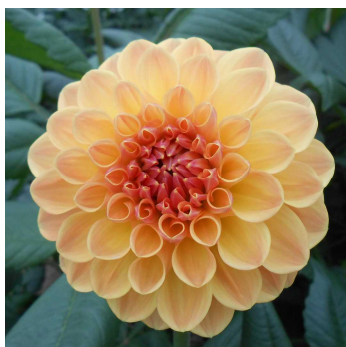
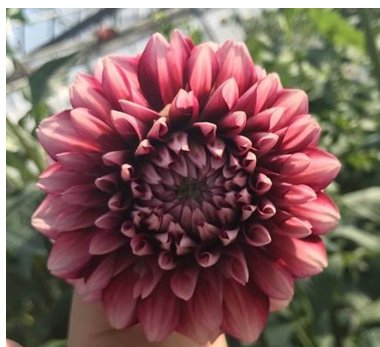


写真 冬春出し作型の有望品種
(左：恋金魚 中央：ゆめちゃん 右：ピュア)

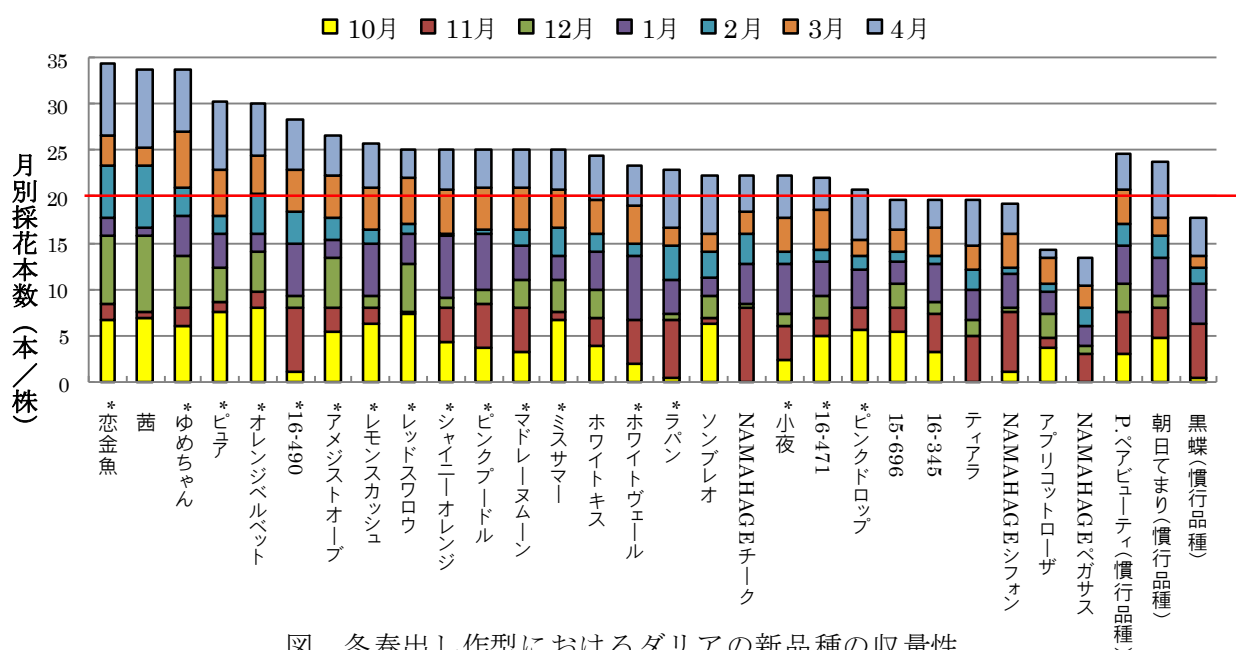


図 冬春出し作型におけるダリアの新品種の収量性

定植日：平成29年8月1日（うね幅180cm・株間30cm・1条植え）

温度管理：日中23℃、夜温10℃を下回らないように加温

電照：1番花採花まで14.5時間日長延長、その後は4時間の暗期中断

施肥：元肥はCDUS555、エコロング(180日タイプ)を用いて、それぞれN-P₂O₅-K₂Oを各10kg/10a施用

ダリアは、毎年種苗会社から数十種類の品種が発売されます。生産者がいち早く有望品種や系統を選択し、適切な栽培管理を行って高品質のものを生産できるよう、当センターではこれらの適応性、生育・品質特性の調査を行っています。

2017年度には、慣行品種を除く27品種・系統について調査を実施したところ、21種で1株当たり20本以上の採花本数(赤線)が得られ(図)、そのうち17種(品種名の頭に*がついているもの)が基準となる切り

花品質(切り花長が70cm以上で露心花発生率は10%未満)をクリアしていました。中でも‘恋金魚’、‘ゆめちゃん’、‘ピュア’は、1株当たり30本以上の採花本数が得られ、かつ上記の品質基準を満たしており、有望と考えられました(写真)。

当センターでは、今後も同様の試験を継続して実施する計画です。

(花き担当 山下真司 088-863-4918)